

令和 7 年度 日宇保育所 事業報告書

1 保育所の運営

(1)定員 400 名

(2)年齢別・月別入所児童数(各初日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	9	15	15	16	22	22	25	35	37	41	44	42	323
1・2 歳児	82	79	79	78	79	79	84	81	81	81	79	78	960
3 歳児	38	38	38	38	38	38	37	37	37	37	36	36	448
4 歳児以上	81	80	80	80	80	80	81	81	82	82	82	82	971
計	215	212	212	212	219	218	222	234	237	241	241	238	2702

(3)職員数 令和 7 年度始 51 名、令和 7 年度末 50 名

(4)職員の異動等

①採用

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R7.10.15	用務員				
R7.12.15	用務員				

②異動

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R7.4.1	副園長				配置換増←佐々神田保育園
R7.4.1	保育士			保育士資格	配置換増←ルビィ保育園

③退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R7.5.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により
R7.6.30	保育士			保育士資格	一身上の都合により
R7.8.31	用務員				一身上の都合により
R7.9.30	保育士			保育士資格	一身上の都合により
R7.12.1	用務員				一身上の都合により
R8.3.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により
R8.3.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により
R8.3.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により

(5)職員会議の開催状況

月 2 回以上の職員会議を開催し、情報共有及び事例分析を行うことで、保育方針や支援方法に関する共通理解の形成に努めた。

前年度、子どもの持物管理に関する事案(紛失や入れ間違い等)が複数発生した反省点を踏まえ、今年度は「リスクマネジメント」を重点課題として位置付けた。ヒヤリハット事例(軽微な事案を含む)が発生した際には、速やかに報告・共有を行い、併せて報告様式の見直しを行なったことで、安全管理体制の充実及び事故防止の徹底を図った。

会議内容については議事録を作成し、全職員への周知を行った。

給食内容検討会を毎月 1 回開催し、給食内容の充実及び食育の推進に努めた。

2 保育の実施状況

子ども一人ひとりの発達状況や日々の成長の姿を丁寧に捉えながら、安心して活動できる保育環境の整備に努めた。

2 年目の実施となる 1 日保育参観では、日常の保育の様子に加え、自立心や協調性など集団生活の中で育まれた子ども

もの成長の姿を保護者に見ていただく機会となった。あわせて、園長・副園長との懇談を通して、本園の保育方針や保育内容への理解を深めていただいた。

また、ホームページを活用して日々の保育の様子を積極的に発信したことで、保護者からは「園での様子が分かり、親子の会話のきっかけとなった」との評価を得ることができた。

これらの取組を通して、家庭と園との連携を一層深め、子どもの成長を共に見守り育む保育の推進に努めた。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数(年・月指導回数)	委託先名
漢字保育指導		午前9時30分より 年7回	登龍館(漢字保育指導)
幼児体育指導		毎週金曜日午前9時30分より 年間17回	いむら体育教室
英語遊び指導		毎週月曜日 午前9時30分より 年間35回	英語あそび

4 年間行事の実施状況

4月 4/2 バスイク(島瀬公園)〔桜組〕 4/8 花まつり〔桜組〕 4/10 防災訓練(火災) 4/18 親子歓迎遠足(森きらら) 4/23 お誕生会・心の保育	10月 10/8 大島造船所マチング〔桜組〕 10/10 運動会(東部スポーツセンター)〔全園児〕 10/14～17 一日保育参観 10/15 お誕生会・心の保育 10/16 尿検査〔以上児〕 10/29 芋掘り・大根種まき〔桜組〕 10/30 内科健診〔全園児〕 10/31 防災訓練(火災)二次避難
5月 5/9 バスイク(図書館)〔桜組〕 5/13 交通安全教室〔以上児〕 5/14 お誕生会・心の保育 5/20 尿検査〔以上児〕 5/21 防災訓練(火災) 5/22 芋さし(針尾農園)〔桜組〕 5/23 バスイク(早岐茶市)〔桜組〕	11月 11/9 日宇地区公民館まつり〔桜組〕 11/12 お誕生会・心の保育 11/20 日宇小学校交流会〔桜組〕 11/21 鍛錬遠足〔以上児〕 11/25 防災訓練(火災)
6月 6/5 内科健診〔全園児〕 6/11 お誕生会・心の保育 6/12 バスイク(阿波佐世保)〔桜組〕 6/18 防災訓練(火災) 6/24～27 一日保育参観 6/26 歯科健診〔全園児〕	12月 12/3 お誕生会・心の保育 12/23 生活発表会〔以上児〕 12/24 防災訓練(火災) 12/25 もちつき会〔以上児〕

7月 7/4 バスイク(ﾌﾟﾚﾚﾘｳﾑ)〔桜組〕 7/4～10 一日保育参観 7/7 セタ誕生会・心の保育 7/9 防災訓練(火災) 7/11 相浦ﾌﾟｰﾙ〔桜組〕 7/22 バスイク(ｽｲﾁ取り)〔桜組〕 7/24 夏まつりごっこ〔全園児〕 7/28 交通安全教室〔以上児〕	1月 1/7 お誕生会・心の保育 1/14 防災訓練(不審者) 1/16 園内歌留多大会〔桜組〕 1/20～23 一日保育参観 1/22 ﾚﾝｶﾞ ﾔﾝｸﾞ〔桜組〕 1/23 防災訓練(火災) 1/24 生活発表会〔未満児〕 1/27 総合防災訓練 1/30 サｶｰ大会〔桜組〕
8月 8/19～22 一日保育参観 8/20 お誕生会・心の保育 8/28 防災訓練(火災)	2月 2/2 交通安全教室〔以上児〕 2/3 節分お誕生会・心の保育 2/17 バスイク(大根引き)〔桜組〕 2/25 防災訓練(火災) 2/26 お別れ遠足〔桜組・百合組〕
9月 9/2～5 一日保育参観 9/2 命のお話会〔百合組〕 9/3 佐世保ﾋﾞﾂ「とったる君」〔全園児〕 9/10 お誕生会・心の保育 9/24 防災訓練(火災)	3月 3/3 お雛様お誕生会・心の保育 3/11 お別れ会〔全園児〕 3/14 卒園式〔桜組〕 3/24 大島造船所ﾏｰﾁﾝｸﾞ〔桜組〕 3/27 防災訓練(火災)二次避難

5 職務分担表(令和7年度最終版)

職名 及び 氏名	職務内容	
園長 清水由美子 (苦情解決責任者) (虐待防止責任者)	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成) 4 財務管理	5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関・保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決責任者
副園長	1 所長の補佐 2 運営管理、保育業務の補佐	3 心の保育に関すること
主任保育士 (苦情受付担当者)	1 所長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指導助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施 9 小学校との連携 10 苦情受付担当者
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 園児の健康と安全管理調	4 保育に関する記録(園だより作成等) 5 保護者との連絡及び指導 6 調理員との連携
保育士	*桜組の担任	
保育士	*百合組の担任	
保育士	*菫組の担任	

保育士	*薔薇組の担任	
保育士	*蒲公英組の担任	
保育士	*薔組の担任	
保育士	1 共通遊具の整理、保存	
保育士	1 保育材料に関すること	2 図書管理
保育士	1 園舎内外の掃除点検	2 備付物品に関すること
保育士	1 交通安全及び避難訓練に関すること	
看護師（衛生推進者）	1 保健衛生・衛生推進に関すること	3 衛生推進に関すること
保育士	2 健康診断及び歯科健診、尿検査に関すること	4 検便に関すること
		5 医薬品の整備・保管
事務員	1 保育所の事務一般に関すること	
保育士	1 延長保育促進事業に関すること	1 一時預かり事業(自主)に関すること
保育士	1 食育に関すること	
用務員	1 用務に関すること	2 園児バス運転に関すること
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検収 2 給食人員の把握 3 調理・配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の健診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備計画

(1) 施設の改築・修繕(100 万以上)

年 月	工 事 名	金 額

(2) 固定資産物品(10 万以上)の購入

年 月	物 品 名	金 額
R7.4	ビデオカメラ FDR-AX45A	147,934
R7.6	まきばのおうちセット(園庭遊具)	999,000
R7.8	業務用ノートパソコン	296,450
R7.8	0 歳児保育室天井照明	986,480
R8.2	施設内 Wi-Fi 環境整備	660,000

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

職員の自己評価を年 2 回実施した。年度当初に設定した目標と保育の実践内容を振り返り、子どもの視点に立ちながら保育内容の自己評価を行った。評価結果をもとに課題を明確化し、保育の専門性及び質の向上に努めるとともに、次年度の目標設定につなげた。

(2) 保育所における自己点検・自己評価

3 歳以上児クラス及び 3 歳未満児クラスにおいて園評価(自己点検・自己評価)を実施した。各クラスの評価結果をもとに、園長の責任のもとで総合的な点検・評価を行い、次年度の全体的な計画の作成に反映した。

一部に計画どおり達成できなかった課題も見られたが、今後も継続的な見直しと改善を行い、保育の質の向上に努めていく。

8 職員の研修参加状況

職員は、園外研修、法人内研修及び園内研修に参加した。研修は会場研修及び Web 研修の形式で実施され、それぞれの職員が保育の質の向上に向けて知識や技術の習得に努めた。

また、研修内容の共有や保育関係の記事・報道等を活用しながら社会情勢への理解を深め、職員一人ひとりの意識向上を図ることで、日々の保育につなげることができた。

(1) 外部研修

年月日	研修会名	参加者名
5.21	一般社団法人長崎県保育協会 食育研修会	
6.18	佐世保市幼児センター 保幼小連携講演会	
7.31～8.1	登龍館 夏季指導者研修会	
8.18	佐世保市保健福祉部 調理従事者等研修会	
8.29	一般社団法人長崎県保育協会 保育研修会	
9.11	一般社団法人長崎県保育協会「実技研修会」	
9.17	一般社団法人長崎県保育協会 主任・主幹研修会	
10.22	一般社団法人長崎県保育協会 保健研修会	
10.21	佐世保市幼児教育センター 調理担当者実技研修会	
11.7	一般社団法人長崎県保育協会 保育研修講演会	
11.10	一般社団法人長崎県保育協会 施設長研修会	
9.2～3、10.18	佐世保市保育会 キャリアアップ研修「食育・アレルギー研修」	
10.4～5	保育のデザイン研究所 キャリアアップ研修「マネジメント」	
10.19、26	保育のデザイン研究所 キャリアアップ研修「障害児研修」	
10.24～25	保育のデザイン研究所 キャリアアップ研修「乳児研修」	
11.2、9	保育のデザイン研究所 キャリアアップ研修「食育・アレルギー研修」	
11.15～16	保育のデザイン研究所 キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」	
11.19～20	保育のデザイン研究所 キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	

(2) 針尾福祉会主催の研修実施状況

漢字保育園内研修 年6回 4/24 5/29 6/20 9/25 10/24 1/16 2/20

9 意見・要望・苦情・不満処理受付状況

・特記事項なし

令和8年度

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 日宇保育所

）

A、B、C、Dの4段階評価

A：大変良い

B：良い

C：一部検討を要する

D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	（１）保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた全体的を設定しているか。		○			前年度の子どもの実態を踏まえ、地域の動向等も考慮しながら全体的な計画を作成した。日々の保育においては、子どもが自ら考え行動する姿を重視して取り組んだが、活動の選択肢を広げすぎたことで、一部の子どもに戸惑いが生じる場面が見られた。また、衝突やトラブルが頻発し、その仲裁や安全確保に対応する中で、本来意図していた「じっくり遊び込む姿」を十分に支えきれない場面もあった。子どもの主体性を尊重する自由度と、安心して過ごせる環境づくりとのバランスの難しさが課題として残った。 子ども一人ひとりとの対話の機会を意図的に増やすよう努めたことで、個々の思いや姿をより深く理解することができ、子どもとの関わりを深めることにつながった。 地域性や大規模園ならではの特色を生かした目標設定を行ったが、十分な連携の機会を確保できない場面もあった。今後は、園全体で目標のあり方についてさらに検討を深め、共通理解のもとで実践につなげていく必要がある。
	（２）目標は、施設や地域の特色を生かしているか。			○		
	（３）目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	（４）目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	（５）目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	（１）指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			子どもの実態に応じた指導計画を作成し実践したが、主体性を引き出すための言葉かけにおいて、意図が十分に伝わらず、子どもを困惑させてしまう場面が見られた。その結果、トラブルにつながることもあったため、今後はより分かりやすく伝わりやすい表現を意識し、丁寧な関わりに努めていきたい。 保育士が常に子どもの身近な存在として関わり、一人ひとりの育ちに向き合いながら、自発的に活動できるよう支援に努めた。また、職員間で情報を共有する機会を継続的に持ち、共通理解のもとで対応を行った。室内環境についても配慮し、子どもが安心感と信頼感をもって過ごせる環境を整備することができた。 日々変化する子どもの実態について、職員間でより迅速かつ的確に共有できる体制の強化を図っていく必要がある。
	（２）保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	（３）環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	（４）評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	（１）１日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			現行の基本的な保育の流れを維持しつつ、日課の工夫や職員配置の見直しを行い、より子どもの実態に即した保育体制の構築を目指していく。
行事について	（１）行事の種類や実施回数は適切か。		○			年間計画に基づき保育を進める中で、子どもへの負担に配慮しながら内容の見直しを重ねた。状況に応じて柔軟に対応したことで、子どもたちが無理なく楽しめる活動を実施することができた。また、子どもたちとともに多くの体験を重ねたことは、職員にとっても学びとなり、資質向上や成長につながった。 戸外や広いホールを活用し、安全に配慮しながら十分に体を動かせる活動を実施することができた。今後も職員間でアイデアを出し合い、活気ある活動の展開につなげていきたい。 子どもの実態に即した計画を立て、日々の保育の充実に努めた。また、クラスの枠を越えて情報や気づきを迅速に共有し、連携を深めることで、より強固な保育体制を築くことができた。
	（２）行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	（３）乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	（４）計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			年間の業務の流れに沿って、係や担当業務の分担を適切に行った。緊急時に対応すべき事項を明確化していたことで、状況や相手に応じた迅速な対応が可能となった。今後も必要な職員体制を常に検討し、柔軟かつ最適な職員配置に努めていく。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			会議においては、議題を明確に設定することで円滑な進行に努めた。また、問題が生じた際にはその都度会議を開催し、速やかに協議・検討を行うことができた。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営・組織	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。		○			各年齢の発達段階に応じた目標を体系的に設定し、運用を行った。子ども一人ひとりの発達には個人差があるため、保育内容については試行錯誤を重ねながら進め、実態に即した指導計画へ柔軟に修正を行った。今後は、以上児・未満児クラスともに、縦と横の連携をより一層深め、職員間で十分に共有しながら保育を進めていきたい。日常的な交流を通して、思いやりの心の育ちや生活習慣の自立が促され、期待以上の相乗効果が見られた。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定してるか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。			○		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。			○		保育記録および各種資料については、適切に管理を行った。一方で、その意義や趣旨について話し合う中で意見の相違が生じる場面もあり、職員間で思いをすり合わせながら共通理解を深めることの難しさも見られた。
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			年間保健計画に基づき、毎月の保健だよりを発行するとともに、園内で発生した感染症に関する予防対策の周知徹底を図った。また、園内外の消毒や保護者による毎日の健康カード提出を通して、健康管理に努めた。食物アレルギー児への対応においては、担当医師と密に連携し、事故防止を徹底した。さらに、健康調査表を活用することで園児の健康状態を的確に把握し、緊急時における医療機関との連携体制も整備した。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか		○			計画的に研修へ参加し、研修を通して職員一人ひとりの視野を広げることができた。また、会議での情報共有を通じて、園全体の意識向上につなげることができた。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか		○			
	所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			復命書を提出するとともに、職員会議において研修内容の報告を行い、全職員への共有を図った。
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか。	○				園児の個人情報については、全職員が共通理解のもと慎重に取り扱い、適切に管理した。また、個人情報保護の重要性について職員へ継続的に注意喚起を行った。 公文書（就業規則等）については、職員がいつでも閲覧できるよう事務室内にファイルして配置した。なお、重要書類については施錠可能な場所に保管し、適切な管理を行った。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				防犯カメラを設置し、不審者侵入防止対策を講じた。また、佐世保警察署と110番通報装置による連携体制を整え、安全確保に努めた。 遊具等の安全点検については、毎週月曜日に定期点検を実施した。加えて、年1回専門業者による点検を行い、修理が必要な箇所については速やかに整備を実施した。 各クラスの掲示板を活用し、保護者へ分かりやすく情報を周知することができた。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				各種事務については、管理体制を含め適正に処理を行った。
開設間交流・連携 開かれた保育所づくり 家庭・地域社会との連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				年間指導計画に基づき、節目や季節の流れに沿った計画的かつ継続的な連携を図ることができた。 小学校との連携については、年度当初に年間計画を策定し、計画に基づいて円滑に実施することができた。交流を通して、子どもたちは小学校生活への興味・関心を高め、期待感を膨らませる姿が見られた。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。			○		定期的に保幼小連携会議を開催し、情報共有や意見交換を行うことができた。また、段階的に小学校と触れ合う機会を設け、円滑な接続に向けた取組を進めた。
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		今後は、さらなる交流活動や合同研修の機会を設け、相互理解の一層の深化に努めていきたい。
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。			○		1日保育参観を計画・実施した。保護者には、園での子どものありのままの姿を見ていただくことができ、集団生活の中で育まれる社会性や成長を感じられたとの好意的な意見が多く寄せられた。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		地域の伝統行事への参加などを通して、園が地域社会に根ざした活動を展開することができた。子どもたちは豊かな体験を重ね、社会性や協調性を育む機会となった。

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			毎月第2・第4水曜日に園開放を実施し、保護者が気軽に立ち寄り、安心して過ごせる場となるよう環境整備に努めた。
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			必要に応じて、子どもの受け渡し時に保護者から相談を受け、実情に沿った助言や支援を行った。
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				行政および専門機関との情報共有を図り、早期発見・早期療育につながるよう連携した支援を行った。
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				園だより・給食だより・保健だよりを毎月1日に発行し、保護者への情報提供に努めた。 ホームページを活用し、保育所の活動状況を随時発信することで、保護者への情報提供の充実を図った。
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	要望や質問事項に対応するため意見箱を設置し、保護者の思いの把握に努めた。また、一日保育参観においてアンケートを実施し、保護者の潜在的な思いを把握するよう努めた。今後の運営改善に向けた参考資料の一つとして活用している。
		(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			